

災害は忘れた頃にやってくる

”本番さながら”総合防災訓練

9月2日、原子力災害と土砂災害の発生を想定した武雄市総合防災訓練を実施しました。

原子力災害想定訓練では、北方公民館を避難場所、北方スポーツセンターを救護所として、自家用車や陸上自衛隊車両、マイクロバスなどで武雄市、伊万里市から住民避難訓練を実施しました。

原子力・土砂災害を想定

避難所では、放射線スクリーニングを行い、除染や安定ヨウ素剤の服用などの処置を受けるためのコーナーも本番同様に設けられ、避



▲AEDを使った救急救命訓練(武内小学校)

難者の体調などの問診も行いました。

また、陸上自衛隊と、地元婦人会などによる炊き出しが行われ、香川県宇多津町から寄贈されたアルミ大鍋も活用し、煮物作りなどに大活躍していました。

土砂災害想定訓練では、武内小学校を避難所として、新武雄病院や医師会と連携し、トリアージ訓練やホワイトボード(へり)を使った搬送訓練、AEDの使用訓練などを行いました。

▶子どもから高齢者まで多くの市民が参加(北方スポーツセンター)



GOGO! 少林寺拳法

小野・中尾組(山内中)が全国優勝

した「組演武」は、肩で息をするだけでなく減点につながるという非常に集中力が必要とされる種目。二人は、日々の鍛錬の成果を十二分に発揮し、息の合った演武で見事全国の頂点に立ちました。

十川さんは4位入賞

一方、十川さんは「緊張して失敗



▶樋渡市長を表敬訪問したみなさん(9月7日)

8月18～19日に香川県の丸亀市民体育館で行われた第6回全国中学校少林寺拳法大会・男子組演武で、小野圭一朗さん(山内中)、中尾真憲さん(山内中)が優勝し、十川佳斐さん(山内中)が4位に入賞しました。

肩で息をしても減点される厳しさ

優勝した小野・中尾組が出場

武雄工業団地が全区画完売

タケックス株式会社と進出協定締結

「少林寺拳法」は、2年後の平成26年度からインターハイ(高校総体)の正式種目になることが決まっています。

今回栄冠に輝いた小野さん、中尾さん、十川さんはいずれも今後は全国的な有力選手として活躍が期待されます。

高校総体正式種目に

このほど、タケックス株式会社が武雄工業団地に進出することが決まり、9月6日に市役所で進出協定の締結式が行われました。

タケックス株式会社は、1971年から朝日町で操業しており、デジタルコーダーや防犯カメラ等を製造しています。今回は、顧客ニーズの多様化による生産増のため、新工場を建設するということです。

武雄工業団地は、平成2年に分譲を開始しましたが、今回のタケックス株式会社の進出によって、すべての区画が完売しました。



▲左から、県企業立地課の大野修課長、タケックス株式会社の横山昌明社長、武雄市の樋渡啓祐市長(9月6日 武雄市役所)